トピノヤビ	///																						
		Day	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
経口投与	【末梢性浮腫予防】 デカドロン錠4mg 2錠 分2 朝夕食後 ※不眠時には朝昼食後で内服 【抗生物質】 レボフロキサシン錠500mg 頓服 ※発熱時 38度以上で 1錠内服し連絡して来院する。 (念の為、3日分処方。)		夕食後	朝食後夕食後	朝食後夕食後	朝食後																	
点滴注射	生理食塩水 100mL (ルートキープ) デカドロン 6.6mg 1管 グラニセトロンバック 100mL 点滴静注 30分 ドセタキセル 70mg/m ² 5%ブドウ糖注 250mL 点滴静注 60分 生理食塩水 100mL (ルートフラッシュ)																						

◆注意事項◆

- ・好中球減少症の報告が多く、その最低値は投与後9日目である。その後、8日で回復するとの報告あり。
- ・ドセタキセルによる浮腫は、毛細血管透過性の亢進が主たる原因と考えられている¹⁾。

総投与量が300~400mg/m²に達すると、間質へのうっ血とリンパ管への還流障害が起こり、水分貯留の発現頻度が増加する可能性があると言われているが、 デカドロン錠の内服により、発現が軽減されると言われている。

1) Semb KA, et al: Capillary protein leak syndrome appears to explain fluid retention in cancer patients who receive docetaxel treatment. J Clin Oncol 16:3426~32, 1998	